

報告

コロナウイルス感染症の感染拡大防止の為、2年連続してチャリティー歌謡ショーをやむなく中止することとなりました。後援会の運営も厳しくなっておりますが、今年度、何とか開催できれば良いと、スタッフ一同考えております。その際は、ご協力をお願いいたします。

令和4年度 つばさ後援会事業計画

4月 「あおぞら」発行
4月から12月 会員継続及び増強
4月から チャリティー歌謡準備



社会福祉法人つばさ「つばさ後援会」
いすみあかね園

チャリティー歌謡ショー

今年度開催予定で準備を進めておりますが、
日時・歌手については未定です。
決定次第、皆様にはお知らせいたします。

コロナウイルス感染症の感染状況により
開催できない場合もありますので
ご了承ください。

「つばさ後援会」へのご入会をお願いします

個人会員（年間一口3千円）
法人会員（年間一口1万円）
入会申し込み、お問い合わせは事務局まで
TEL. 0470-66-0600
FAX. 0470-66-1878



編集後記

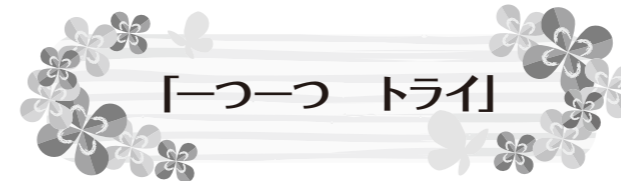
コロナ禍も3年になりますが、いまだに皆さんにお集まりいただき大きな行事を行うことが難しい状況ですが、小さな楽しみを見つけ積み重ねながら、日々を過ごしていただければと思います。このような状況の中ですが、つばさ後援会は利用者さんの為に、地域の方々のご協力・お力添えを頂きながら邁進してまいりますので、今後もよろしくお願いいたします。

発行所：いすみあかね園 つばさ後援会
住所 いすみ市山田5901
TEL. 0470-66-0600
FAX. 0470-66-1878

あおぞら

No.29

発行日：R4. 4. 1.



「一つ一つ トライ」

施設長 押田 千晴

「コロナ禍」という言葉が毎日聞こえてくるようになってから、もう3回目の春が来ました。毎朝の電話・検温等にドキドキ・ハラハラする中、コロナウイルスとの戦いが続いています。敵も、デルタ株・オミクロン株と形を変えて私たちに挑んできます。先の見えない戦いに、疲れてきてしまったのは私だけではないと思いますが・・・。そんな思う様な活動もできない中でも、利用者・職員が大きな怪我や病気もなく、元気に過ごせたことには、感謝しかありません。

昨年は、世界中で感染が拡大する中、最後まで中止か延期かと議論されていた「2020 東京オリンピック・パラリンピック」が開催されました。近くでは、一宮町がサーフィン会場となり、一般市民の不安をよそに、メダル獲得もあり大いに盛り上がりました。選手の皆さんが勇気と感動を与えてくれたことは、しばし暗いニュースから離れられた明るいニュースとなりました。

コロナ感染が、全くなかったわけではありませんがクラスターにもならず、最小限に抑えられたのは、利用者本人は勿論、家族、職員の日々の努力のたまものだと思います。嫌がりながらもマスクを着け、消毒をして…そして何より「出かけちゃだめだよ」等、毎日のように声を掛けられ、好きなドライブや外出も我慢の日々。イライラする中で、ご家族も大変だったと思います。コロナ感染は、第〇波との言葉通り、引いては押し寄せてくる波です。一体いつまで続くことでしょうか。当園では、職員・利用者ともに3回目のワク



チン接種が終了しています。今後も感染対策を徹底しながら、今できることを常に考え行いながら、安全で安心した生活が送れるように努めてまいります。

With コロナの時代の課題は山積みですが、そのことばかりを気にしているわけにはいきません。利用者・家族・職員？も歳を重ね高齢化の波も押し寄せています。「今までは？」が通用しないことが増え、その中で私たちに何ができるのか、「共に考え」ながら、今年の干支にちなんで「何事にも果敢にトライ」の気持ちをもって、一つ一つ目の前の事から「トライ」していきます。

ここ数年、全国的にも介護人材の不足は深刻になるばかりです。介護職員の高齢化もあり、どうしたら若い人達を呼び込んでいく事ができるのか？介護ロボットやICT導入を促進する動きもある中で、更なるサービスの向上と将来を担う人材育成・地域福祉の推進や地域貢献活動など皆で知恵を出し合い、一步一步着実に進んでいきたいと思えます。

最後になりますが、日頃より地域の方々、関係各所の方々、後援会、保護者の方々のご理解とご協力に感謝すると共に、今後とも変わらぬご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

日中活動の私たち

斉藤
主任

「コロナ禍での活動」

「桜のつばみも膨らみボク達・私達は・・・」という言葉が定番だと思っていたのは昭和の時代の卒業式だったのでしょうか？ 春といえば卒業から入学と心弾む季節。それが令和になり様変わりし、気が付けば今年度も新型コロナウイルスという言葉から離れる事が出来ず対策に頭を悩ます1年間となりました。園内の生活もマスクや消毒が当たり前の光景となり、週末の楽しかった外出の会話も「どこにも行かなかったよ」という内容に変化。それに伴い作業の場面では夏場のマスク対策や人との距離間等々・・・あらゆる行動に関し数々の話し合いを行い試行錯誤で取り組んできました。現在もまだ継続中ではありますが、先が見えない事に不安や苛立ちの様子が見え隠れの毎日も3年目。そんな中でも元気に登園し笑顔での会話に癒やしを感じている毎日です。まだ先は長いと思いますが、皆で明るい時間を過ごせる場所がある事に感謝し、少しでも楽しい時間を過ごしていきたいと思えます。



元吉
支援員

生活作業班に入り、今年で2年目に突入しました。外作業班に所属していた際には生活作業班の利用者との関わりは少なく、その中でいかに一人一人の事を理解に繋がれていけるかを考えてきました。

生活作業班に入った当初は右も左も分からず何から始めていけば良いのかも分からない状態でしたが、自分で言葉を出す・気持ちを伝える事が難しい人達の事を知る為に今現在も勉強中の身であります。以前から生活作業班に所属していた職員に話を聞いたり、動きを見せてもらい、その際に聞いた話の中で特に重要になるのは「職員のチームワーク」という事であり、一人一人が別々の支援を行う事で連携を取る事が難しくなり、同時に利用者を不安に繋げてしまう為、いかにチームワークが取れていけるかが大事かという事でした。

2021 夏フェス!

「今年度は〇〇やる？」この言葉を何人から何回聞いた事か。数々の行事が中止や縮小されている事を考えれば当たり前の問いだ。

さあ、夏祭りはできるのかな？ やはり例年通りの開催は難しい状況の中、考え出されたものが「2021夏フェス！」この行事は夏祭りではなく納涼祭でもなく、新しい行事として初フェスに取り組み開始。食事はもちろんのこと、飾りや衣装までも夏らしく・自分らしく・可愛らしく・・・そしてソーシャルディスタンス（これもお馴染みの言葉になりました）。

テント内では大型扇風機設置で暑さ対策、園庭では職員が腕を振るい美味しい食事の準備。空腹に刺激的な良い匂いが待ちきれない気持ちを後押しからの舌鼓は最高。暑さやコロナに負けず笑顔や会話が飛び交う、夏フェスそのものの楽しみが出来ました。



クリスマス会



「アットホームなクリスマス」そんな言葉がピッタリな会となりました。何もかも、中止や縮小される中、こだわりの飾りつけ・帽子もすべてが手作りで、極めつけは、くじ引きとビンゴのプレゼント。みんなわくわく笑顔いっぱい「コロナなんかぶっ飛ばせ」とばかりの盛り上がりで、みんな大満足。



職員宿舎 つばさ荘



当法人の職員確保を目的として、職員宿舎が完成いたしました。職員さん、大募集!!